

2011年度
第2四半期決算説明会

2011年11月8日

 **不二製油株式会社**

代表取締役社長
海老原 善隆

1

目 次

- ・ 2011年度 第2四半期決算ハイライト
- ・ 2011年度 通期業績予想
- ・ 新中計での優先課題

2

2011年度 第2四半期決算ハイライト

3

第2四半期 累計実績

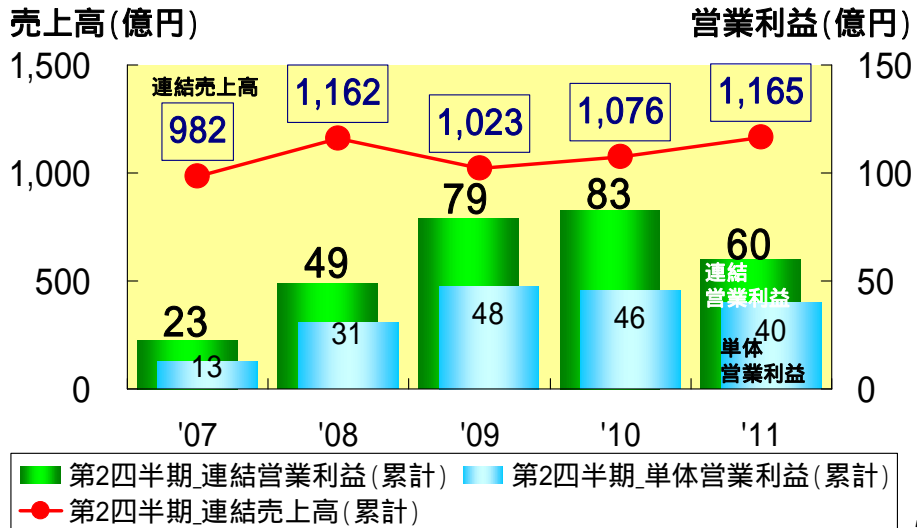
	連 結		単 体	
	11年度 1-2Q累計	対前年 同期	11年度 1-2Q累計	対前年 同期
売上高	1,165	+89	702	+63
油脂	502 (43)	+79	217 (31)	+54
製菓・製パン素材	480 (41)	+18	335 (48)	+8
大豆たん白	183 (16)	9	150 (21)	0
営業利益	60	23	40	6
油脂	21 (35)	14	10 (25)	+1
製菓・製パン素材	28 (47)	12	22 (55)	9
大豆たん白	11 (18)	+2	8 (20)	+2

()内は構成比率

(億円: 億円未満を四捨五入して表示)

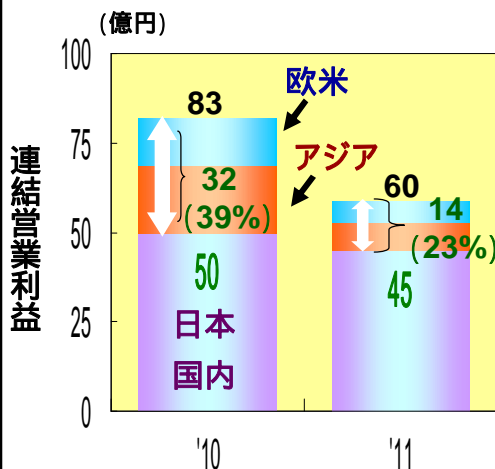
4

第2四半期累計 連結売上高・連結/単体営業利益推移



5

地域別 第2四半期連結営業利益



- ・海外が国内に比べて大幅に減益
- ・海外油脂事業の営業利益は前年の40%
- ()内%は、海外営業利益比率

(億円)	11年度 第2四半期	対前年 同期
日 本	45	5
油脂	11	+1
製菓・製パン素材	25	8
大豆たん白	9	+3
消去	+1	1
アジア	7	12
油脂	4	8
製菓・製パン素材	2	4
大豆たん白	2	0
欧 米	6	7
油脂	6	7
合 計	60	23

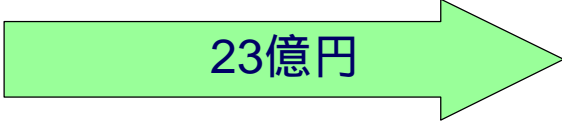
2011年度 第2四半期決算のポイント

連結、単体ともに増収減益 特に油脂部門の海外が厳しい

油脂部門	<ul style="list-style-type: none"> ・国内) 震災需要はあったが、その反動や夏場の猛暑・節電により需要は総じて停滞。その中でバーム関連製品は対前年数量110%を達成。 ・海外) CBEの競争激化。景気低迷の中で総需要も停滞。CBEの収益性が低下。原料高騰による油脂全体の採算性悪化も減益に拍車。
製菓・製パン 素材部門	<ul style="list-style-type: none"> ・国内) 震災後、各社新製品発売が軒並み中止、延期。更に集中生産したことでバラエティ商品が減少。乳製品やカカオなどの原料高騰を価格改定出来ず。 ・海外) 原料の高騰への価格是正が遅れ、収益性低下。
大豆たん白 部門	<ul style="list-style-type: none"> ・国内) 震災需要による数量増は一時的であったが、粒状たん白や機能剤が増加。豆乳、上期黒字化。 ・海外) 中国飲料市場で機能剤が好調、日本向けたん白食品が回復し収益改善。

7

第2四半期 連結営業利益分析(対前年)

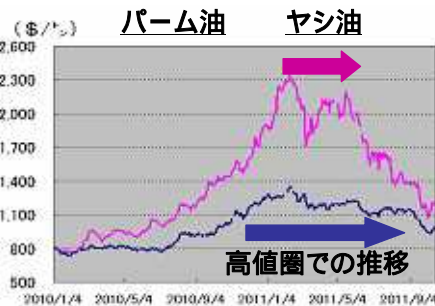
		
2010年度 上期 営業利益	<p>販売数量増 + 6億円 <small>シェアの拡大、差別化製品の拡販</small></p> <hr/> <p>コストダウン + 2億円 <small>生産合理化、品種統廃合 等</small></p> <hr/> <p>原価上昇(NET) 33億円 <small>原料の上昇額 110億円</small></p> <hr/> <p>販管費減少 + 2億円</p>	2011年度 上期 営業利益
83億円		60億円

8

. 2011年度 通期業績予想

9

原料価格 推移(2010年~)



10

2011年度 通期業績予想 下方修正

	連 結		単 体	
	11年度 予想	対前年	11年度 予想	対前年
売上高	2,486	+259	1,497	+153
油脂	1,083 (44)	+187	446 (30)	+88
製菓・製パン素材	1,030 (41)	+72	748 (50)	+65
大豆たん白	373 (15)	0	303 (20)	1
営業利益	134	32	100	5
油脂	39 (29)	26	22 (22)	2
製菓・製パン素材	74 (55)	8	62 (62)	4
大豆たん白	21 (16)	+3	16 (16)	+0

()内は構成比率

(億円:億円未満を四捨五入して表示)

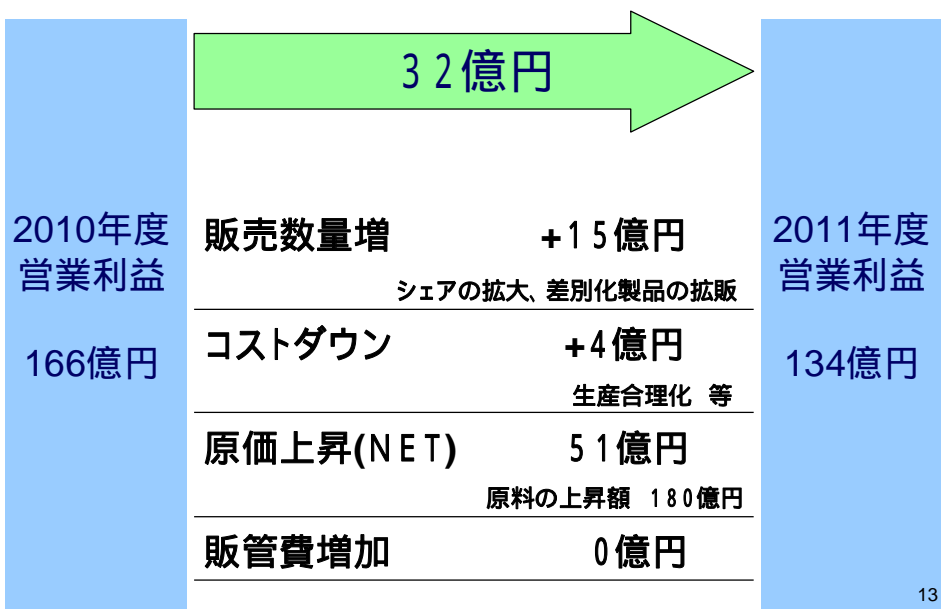
11

連結通期営業利益予想 増減要因

	11年度 営業利益 増減予想(対前年)	要 因
油脂部門	26 (国内 2) (海外 24)	・CBEの需要停滞、カカオバターの価格低下により収益性は依然回復せず。また、高値原料在庫により大幅減益。
製菓・製パン 素材部門	8 (国内 3) (海外 5)	・国内外で価格改定により収益性は徐々に回復し、需要も回復基調であるが、上期の減益をカバーするには至らない。
大豆たん白 部門	+3 (国内 +2) (海外 +1)	・機能剤、小売商品事業が好調に推移する見通し。また中国事業の再構築及び中国でのたん白食品事業が堅調に推移する見通し。

12

11年度通期 連結営業利益分析 (対前年)



13

. 新中計での優先課題

14

新中計での優先課題

〈油脂事業〉

CBE対策

- ・コスト追求と数量拡大
- ・CBS、CBRの拡販
- ・各油脂拠点でのマーガリン生産

〈製菓・製パン素材事業〉

中国・アジアでの*製菓三品ビジネスを加速する

- *製菓三品:マーガリン、クリーム、チョコレート
 - ・販売力の強化(現地パートナーと連携強化、プラザの設置)
- 国内重点市場への取り組み強化
- ・外食、製パン市場での拡販

新中計での優先課題

〈大豆たん白事業〉

世界市場を見据えた中国アライアンス体制の構築
食品機能剤、小売事業のグローバル展開
大豆加工食品事業の事業領域の拡大

〈新事業創出への取組み〉

研究所に新事業創出PJチームを設置

- ・これまでの研究成果から事業の芽を掘り起こし、事業化につなげる。

二つとない、をつくる。



業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項
業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、
実際の数値は今後様々な要因により、予想数値と異なる可能性があります。